

「オリセツト®ネット」で2010年 アグロウ・アワードを受賞

11月2日、ロンドンにおいて「2010年 アグロウ・アワード」(Agrow Awards)の授賞式が開催され、マラリア予防に効果を発揮している防虫蚊帳「オリセツト®ネット」が「ベストイノベーション(非農業製品)」部門(Best Innovation in Non Crop)で同賞を受賞しました。日本企業が「アグロウ・アワード」を受賞するのは今回が初めてとなります。

「アグロウ・アワード」は、農薬業界に関するニュース、市場分析などさまざまな情報などを提供している媒体、アグロウ誌が主催しています。13の部門から構成されており、当社の「オリセツト®ネット」が受賞した「ベストイノベーション(非農業製品)」部門では、家庭害虫、病原菌媒介害虫駆除といった、農業以外の分野で用いられる薬剤に関する技術などを対象に審査が行われます。

現在、世界では年間約2.5億人がマラリアに感染し、約100万人が命を落としています。「オリセツト®ネット」はマラリアを媒介する蚊から経済的かつ効果的に身を守ることができ、世界保健機関(WHO)などから使用が推奨されています。独自技術により練りこまれた殺虫剤が蚊帳の表面に徐々に染み出し、効果が5年以上持続します。また、ポリエチレン製のため丈夫であるほか、熱帯の地域でも使いやすいよう、蚊帳の穴の形状を工夫して通気性を確保するなど、さまざまな特徴を有しています。

当社は増大する需要に対応し、生産能力の拡大に努めてきた結果、「オリセツト®ネット」の全体の生産能力は年間6,000万張に拡大しました。そのうち2,900万張りはタンザニアで生産されており、現地では7,000人の雇用創出につながっています。

「オリセツト®ネット」は当社が持つ、石油化学と殺虫剤に関する技術の融合により開発された製品です。今後も、当社は、多様な技術を融合し、より付加価値の高い製品・技術を生み出すことを目指す「創造的ハイブリッド・ケミストリー」を加速し、事業を通じて国際社会が抱える課題の解決に向けて取り組んでまいります。

以上